

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月28日

計画の名称	相模湾の港湾における安全で快適な港づくり												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	神奈川県												
計画の目標	<p>【真鶴港】 真鶴港活性化整備計画に基づき、物揚場及び船揚場を改良し、産業活性化に向けた基盤を整備する。</p> <p>【湘南港】 東京2020オリンピック競技大会のセーリング競技が開催される湘南港において、必要な環境整備を着実に進行。</p> <p>【相模湾の港湾】 地方港湾、漁港、マリーナと連携した相模湾クルージングツアー活性化のための基盤整備等を行う。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	498	A	495	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.6	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和2年度	中間目標値	最終目標値 令和6年度
1	<p>【真鶴港】 物揚場及び船揚場の改良により、水面係留8隻及び陸置8隻を可能とし、産業を活性化する。</p> <p>物揚場改良後の漁船係留隻数</p>	0隻	隻	8隻
2	<p>【湘南港】 緑地(トイレ等)の改良や港湾施設のバリアフリー化により、港湾利用者の利便性の向上を図り、港湾緑地への来訪者を増加する。</p> <p>本整備計画に位置付けられた江の島内のトイレバリアフリー化率</p>	0%	%	100%
3	<p>【相模湾の港湾】 相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを増加させる。</p> <p>相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを実施した事業者数</p>	0者	者	2者

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	物揚場改良	物揚場改良 L=157m	真鶴港 真鶴地区						250	-	
	A02-002	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	船揚場改良	船揚場改良 L=90m	真鶴港 真鶴地区						0	-	
		利用者との調整に不測の時間を要したため事業を実施出来なかった。																	
	A02-003	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	緑地改良・バリアフリー化	緑地改良・バリアフリー化 1式	湘南港 江の島地区						45	-	
	A02-004	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	係留施設整備	係留施設整備 1式	湘南港 江の島地区						200	9.8	-
												小計						495	
												合計						495	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	C02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	-	海上観光運航実験	海上観光運航実験 1式	湘南港 江の島 地区						3		-
		海上観光運航実験を実施することで、相模湾の港湾における海上観光の実現を図り、港の賑わいを創出する。																	
											小計						3		
											合計						3		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 策定主体にて実施	事後評価の実施時期 令和8年3月
	公表の方法 神奈川県県土整備局河川下水道部河港課ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	真鶴港の物揚場の改良により、4隻の水面係留が可能となった。 湘南港内のトイレの改良により、本計画に位置付けた施設のバリアフリー化率が100%になり、利用者の利便性の向上が図られた。 湘南港の係留施設整備により、湘南港を基点とした海上交通の運航が開始され、複数の事業者によるクルージングツアーが実施された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画の残事業については、令和7年度～令和11年度の整備計画に位置付け、引き続き整備を進めるとともに、本計画において改修・整備を行った施設については、適切に維持管理を行う。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	8隻	【真鶴港】物揚場及び船揚場の改良により、水面係留8隻及び陸置8隻を可能とし、産業を活性化する。 利用者との調整に不測の時間を要したため、物揚場及び船揚場の整備が一部遅れ、目標値に達しなかった。
	最終実績値	4隻	
2	最終目標値	100%	【湘南港】緑地（トイレ等）の改良や港湾施設のバリアフリー化により、港湾利用者の利便性の向上を図り、港湾緑地への来訪者を増加する。
	最終実績値	100%	
3	最終目標値	2者	【相模湾の港湾】相模湾の港湾を利用したクルージングツアーを増加させる。 湘南港の係留施設整備により、海上交通の運航が可能となり、クルージングツアーの需要が見込めたことから、目標を超える事業者の参画があった。
	最終実績値	6者	